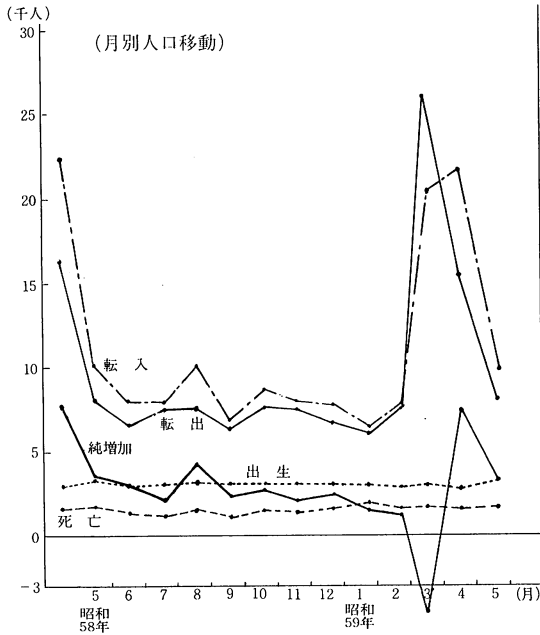


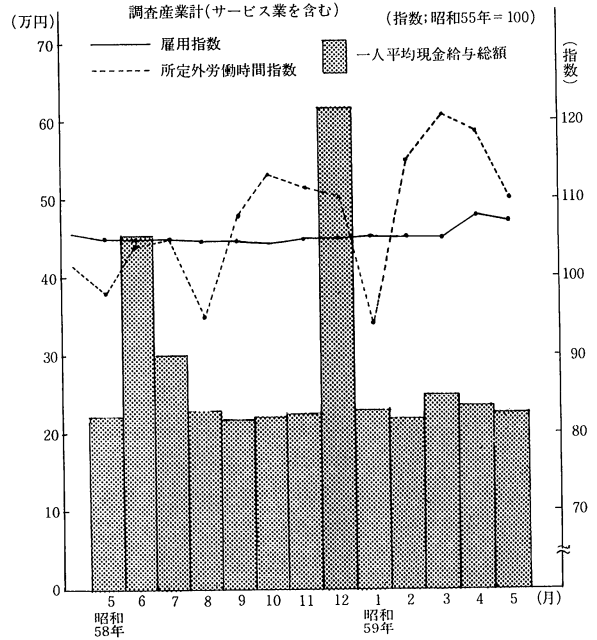
● 今月の主な動き

今月の主な動き

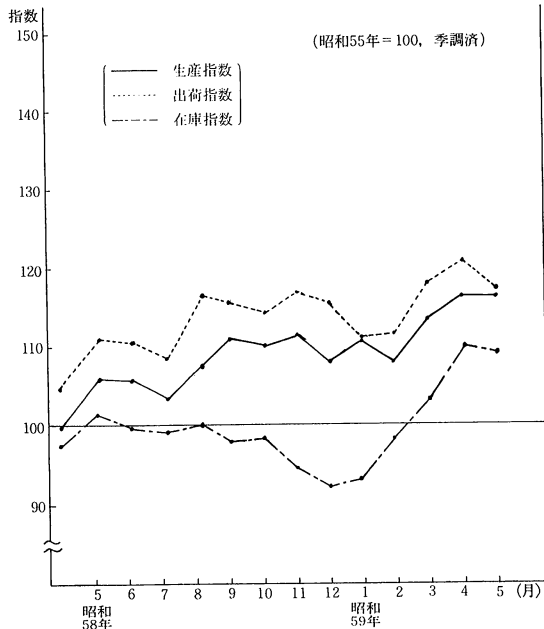
人 口



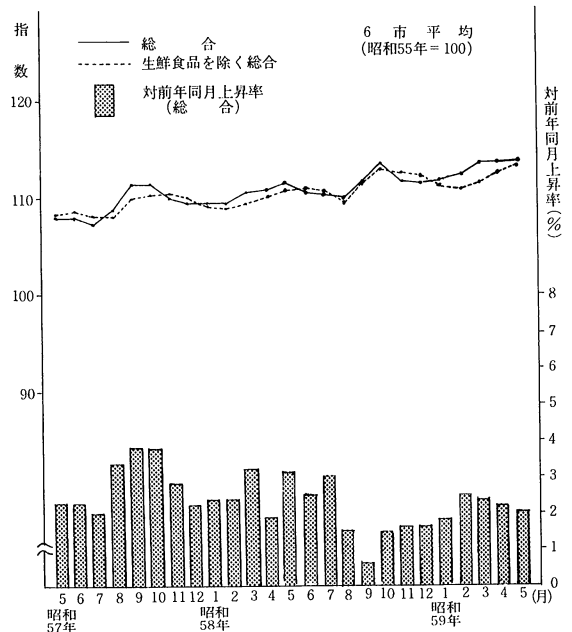
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に3,211人増加し、6月1日現在で2,680,943人になった。昨年6月1日と比較すると、27,249人(1.03%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,622人(出生3,108人、死亡1,486人)、社会動態で1,589人(転入9,817人、転出8,228人)、それぞれ増加した。

勝田市の人口は、5月中に217人増加により、10万人を超え、100,191人となった。

市町村別では、増加が15市54町村、減少が3市15町村、増減なしが5町村である。

世帯数は1,735世帯増加し、746,334世帯となり、一世帯当人員が3.59人と、初めて3.5人台になった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (5月)

1. 平均賃金の推移

5月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヶ月平均現金給与総額は220,166円で前月に比べ3.0%減(前年同月比1.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は216,542円で前月に比べ1.6%減(前年同月比2.5%増)であり、特別に支払われた給与は3,624円で前月に比べ3,204円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は168.9時間で、前月に比べ9.6%減(前

年同月比0.6%減)であった。

このうち所定内労働時間数は151.9時間で、前月に比べ9.9%減(前年同月比1.8%減)であり、所定外労働時間数は17.0時間で、前月に比べ7.1%減(前年同月比11.8%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.9で、前月に比べ0.5ポイント減、前年同月に比べ1.2ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (5月)

昭和59年5月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が115.6、出荷が117.2、在庫が109.1で、前月比は、生産が△0.1%低下、出荷が△2.9%低下、在庫が△0.6%低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が9.8%、出荷が6.5%、在庫が7.1%の上昇であった。

生産を業種別にみると、窯業・土石製品、化学、石油・石炭製品等が上昇し、電気機械、輸送機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、鉱業、鉄鋼業、化学等が上昇し、

一般機械、電気機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、窯業・土石製品、電気機械、石油・石炭製品等が上昇し、一般機械、輸送機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、建設財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (5月)

昭和59年5月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で113.9(昭和55年=100)となり、前月比(+0.4%)の上昇、対前年同月比(+2.0%)の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料(+12.6%、酒類(+6.8%、交通(+6.1%、果物(+6.0%

今月下がった主な項目……野菜・海藻(-13.0%、魚介類(-)4.1%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	113.9	0.4	2.0	保健医療	108.7	0.2	2.9
食 料	114.6	△1.3	1.4	交通通信	108.9	2.3	1.3
住 居	112.6	0.2	0.9	教 育	134.3	0.1	5.3
光熱・水道	109.2	0.7	△0.1	教養娯楽	115.7	1.0	3.3
家具・家事用品	105.5	0.6	1.0	諸 雑 費	112.9	0.3	0.8
被服及び履き物	115.8	5.5	4.4	生鮮食品を除く総合	113.8	1.3	2.6